



2024年
被昇天号 Web版



発行所
カトリック高幡教会
あゆみ編集委員会
TEL042(592)2463

祈りの力

助任司祭
アシジのフランシスコ 熊坂直樹

高幡教会に着任してから四か月ほど経過しましたが、文章を通じて皆様にご挨拶するのは初めてです。で、この場をお借りして、温かく迎えて入ってくださいました。皆様へ感謝申し上げます。お陰様で、鳥のさえずりや窓から見える緑に癒されながら、落ち着いて過ごしております。一方、周りに水辺があるのに、カエルの声が聞こえないこと、あまり蚊に刺されないことなどは、今夏の異常な暑さといまわって、環境の異変のしるしのように感じていま

す。教皇フランシスコは、私たちが他者や自然環境に対して無関心でないように、むしろ、生き方を転換して、周囲に責任ある振る舞いを示すように呼び掛けています。それは本当に差し迫った呼びかけだと感じられます。罪は、たとえ人知れず犯されたとしても、必ず神と人間、人間同士、人間と被造界との関係を傷つけます。その膨大な積み重ねが、今各地の戦争・紛争や気候変動として現れています。その世界的な広がりを前に、無力感を覚えない人はいないかもしれません。しかし、罪が絆を傷つけるものならば、祈りは絆を結ぶものです。たとえ、祈りが人知れず捧げられたとしても、御父は決してそれを聞き逃しません。世界の隅々に染み渡る聖霊が、私たちの心の底のうめきさえも、御父のもとに運んでくださるからです。御父は、ご自身に捧げられた祈りを御子の救いの業に結び合わせ、罪によつて傷つけられた世界に、ゆるしと和解をもたらす力としてくださいます。

マリアはその最も優れた模範です。人知れず捧げられた「お言葉どおりこの身になりますように」という祈りをとおして、世界に救い主が与えられました。また、その祈りの実りとして、キリストへの奉仕に生涯を全うしたマリアは、今や天に上げられて、キリストの復活の栄光に分かたれない絆で結ばれ、その救いの業に与る道筋を私たちのために示してくださいます。マリアと共に生活の中で神に祈りを捧げ、その実りをこの世界に差し出してまいりましょう。†

教会委員会だより

教会委員会 委員長

今回は主に二〇二四年四月から七月までの教会委員会だよりを記載します。

●あらたな気持ちで

復活祭後に定例の司祭異動があり、協力司祭として異動されました。そして、八王子教会の主任司祭高木賢一神父様が高幡教会の主任司祭を兼

務され、また、同様に熊坂直樹神父様は八王子教会と高幡教会の助任司祭を兼務されました。

熊坂神父様が高幡教会に居住してくださり、主に私たちの司牧をしてくださります。

また、高木賢一神父様も教会委員会には毎回出席して下さり、また、二ヶ月に一回程度、高幡教会で、ミサ司式をして下さいます。

●臨時の信徒総会開催

四月十四日に臨時の信者総会を開催しました。年初の信者総会では、教会委員会と財務委員会の異動は極力最小限にして、四月の臨時信者総会に諮ることを計画していました。司祭の異動もあり、タイムリングとしては良かったと思います。

総会の中で高木神父様からは「二人の説教を聞くことは良いことです」とのお話もありました。また、



臨時信徒総会の様子

信徒への説明責任と透明性を大事にしながら司牧をしていきますとの考えもお聞かせくださいました。教会委員会、財務委員会も新たな体制になり、今年度の教会奉仕に励んでいきたいと思えます。

●五年振りのさつき祭

五月二十六日(日)三位一体の日に十時ミサ後から十三時三十分まで、さつき祭を開催しました。高幡教会の守護聖人「さつきの后聖マリア」を記念して、五年振りに行いました。テーマは「共にいる」でした。当日の福音・マタイ28:16-20「わたしは世の終わりまで、いつもあなたと共にいる」からテーマを決めました。

光塩幼稚園、ボーイスカウト、宣教協力体、姉妹教会の方々をお誘いしました。

由木教会から小枝先生ご夫婦、八王子教会から教会委員長がいらしてくださいました。「共にいる」ことで一層楽しいひと時を過ごすことができました。

●入門講座、聖書講座が始まる

熊坂神父様主催の講座が始まりました。光塩幼稚園の保護者を対象に月二回・隔週水曜日十時から。また、毎週金曜日十時ミサ後にヨハネの福音を通読する。また、月二回・隔週

土曜日十時から入門講座をおこなっています。

教会に新しく来られる方々、また、信徒の学びの場ができてきています。実り豊かなものになりますようにお祈りしたいと思います。

●コロナ禍から新しいフェーズへ

コロナ禍で控えていたミサでの奉納も始まりました。また、ミサ後の茶話会や大掃除、地区会なども始まっています。

●防災訓練

一月の信者総会の際に能登半島地震のこともあり、防災訓練を行った方が良いとの提案がありました。遅くなりましたが、猛暑の日、七月二十八日十時ミサ後に聖堂で防災についての説明会を行いました。

スカウトに派遣の祝福

八月十日から五日間、南あわじで開催される全国カトリックスカウト・キャンポリーに参加するスカウトに八月四日のミサで派遣の祝福が送られました。神の恵みのうちに開催されるキャンポリーに参加される皆さんが国内外から集まる人々との豊かな出会いと活動を通してスカウト精神が深められますように。(編集部)



ワッペンを祝福する熊坂神父様



楽しい夏キャンプ

教会学校消息

八月七日から二日間、夕やけ小やけふれあいの里で教会学校の夏キャンプが行われました。

今年の参加者は、熊坂神父様、子供十名、リーダー十一名、保護者四名、育成委員二名でした。

一日目は十時半に現地集合し、お祈り、歌、テーマ発表、班分け(二班)、リーダー紹介がありました。続いて、昼食の後はロザリオの祈りをしてから水遊びやスイカ割りをして楽しい時間を過ごしました。夕食の前は毎にミサの共同祈願や朗読する人、奉納する人を考える時間がありました。夕飯後はキャンプファイヤー、お風呂に入った後、二十一時に就寝しました。

二日目は七時に起床しお祈りの後に朝食を食べました。その後、片付けをし、教会への移動となりました。教会では御ミサを捧げた後、道すがら買ったお弁当を食べてから解散となりました。

教会学校キャンプに参加した子供たちが神様と一緒に、元気に新しい体験をして成長する二日間になったと思います。(編集部)